

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの平成
25事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）

平成26年7月

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第5期事業年度である平成25事業年度の業務実績に関する評価を行った。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.3であり、また以下のことを考慮し、「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

〔小項目評価が4の項目〕 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号

・【1ー(3)】高度医療機器の計画的な整備及び更新

新病院において導入予定の高度医療機器を前倒しで各医療センターに導入したこと。特に、桑名西医療センターにおいてはアンギオ（血管造影検査装置）を更新し、脳神経外科をはじめとする血管内治療の体制強化を図ったこと。また、桑名東医療センターにおいてはマンモグラフィ撮影装置の更新のほか、平成26年度からの周産期内科開設に向け、NICU関連機器（新生児用呼吸器、保育器等）の整備をしたこと。

・【1ー(4)】災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備

桑名東医療センターが災害医療支援病院に指定されたこと。また、災害救助訓練に医師5人、看護師8人が参加したこと。

・【2ー(1)】医療職の人材確保

新病院開院に向けて、桑名東医療センターの常勤医が8人増員となったこと。また、これに伴い、桑名東医療センターの小児科が常勤医3人体制となったこと。

・【3ー(3)】患者の利便性向上

桑名西医療センターにおいてケア・サポートセットの利用サービスを継続するとともに、桑名東医療センター及び桑名西医療センターにおいて医療通訳者の配置を開始するなど、

患者サービス向上に取り組んでいること。

・【4－(2)】患者中心の医療の実践

医師の病気や手術に対する説明に関するアンケートにおいて、患者の満足度が高かったこと。

・【4－(6)】市民への保健医療情報の提供及び発信

市民に向けて、新病院等の情報提供を行っていること。また、3病院合同で第4回病院祭などを開催したこと。

〔評価委員会において、自己評価2を3に変更した項目〕 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号

・【3－(5)】ボランティアとの協働によるサービス向上

ボランティア活動件数は前年度並みを維持していること。また、ボランティア活動においては市民の協力も必要であり、法人側の責任だけではないこと。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象小項目数	5：年度計画を大幅に上回って実施している	4：年度計画を上回って実施している	3：年度計画を順調に実施している	2：年度計画を十分に実施できていない	1：年度計画を大幅に下回っている
1 高度医療の提供	4		2	2		
2 医療水準の向上	4		1	3		
3 患者サービスの一層の向上	5		1	4		
4 より安心して信頼できる質の高い医療の提供	6		2	4		
合計	19		6	13		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

〔評価委員会において、自己評価2を3に変更した項目〕 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号

・【2ー(8)】収入の確保と支出の節減（ア収入の確保、イ費用の節減）

収入の確保において、医業収益は計画値を達成できなかったものの、当事業年度下半期の収益性は改善傾向にあり、次期事業年度の収益の回復が見込まれること。費用の節減において、桑名東医療センターの常勤医8人増員に伴う人件費の増加は将来に向けての先行投資であり、新病院開院に向けて必要な費用であること。また、キャッシュベースにおいて収支均衡が図られ、資金ショートは発生しなかったこと。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1			1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	9			9		
合計	10			10		

※ 中項目2ー小項目(8)収入の確保と支出の節減は、「収入の確保」と「支出の節減」をそれぞれ1つの小項目とみなして評価している。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の平成25事業年度の業務実績については、2つの大項目評価である「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」がともにB評価であること、加えて以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

(1) 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・重点的に取り組む医療の実施において、救急医療への取組として、3病院合計の救急受入数が前年度の実績値を上回り、受入れてもらえなかった数が前年度よりも下回ったこと。

また、急性期医療への取組として、桑名東医療センターにおいて、P C Iの実施数が前年度の実績値を大幅に上回り、当年度の計画値も達成したこと。D P C対象病院の機能評価係数Ⅱ向上への取組として、後発医薬品の導入や医薬品の一括購入について、当年度後半から3病院合同で取り組んでいること。

- ・診療機能の整備において、桑名西医療センターではI B D外来等を継続するとともに、緩和ケア外来を開設したこと。また、桑名東医療センターではリウマチ・膠原病外来を継続するとともに、内科高血圧外来を開設したこと。桑名南医療センターでは静脈瘤外来を継続したこと。
- ・医療職の専門性及び医療技術の向上において、医師による論文が30編発表されたこと。また、平成26年4月の周産期内科開設に向け、周産期の看護業務について看護師の研修を開始したこと。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・新しい人事評価制度の構築において、医師に対する人事評価制度には看護師やコメディカルによる多面評価が取り入れられており、評価の標準化が図られていること。
- ・業務改善に取り組む組織風土の醸成において、理事長が管理職会議や医局会議などの会議に出席し、情報を共有化するなど、理事長と職員間での意思の疎通が図られていること。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・アンギオ（血管造影検査装置）をはじめ、新病院において導入予定の高度医療機器を前倒しで各医療センターに導入したことについて、次期事業年度の評価時にその実績を報告していただきたい。
- ・災害がいつ発生しても対応できるように、その体制を維持していただきたい。
- ・新病院の開院が延びたことによって、確保した医療職の人材が離れていかないように、引き留める努力をしていただきたい。
- ・当年度から運用を開始した慢性肝炎、慢性腎不全及び急性心筋梗塞の地域連携パスの利用者数の増加に努めていただきたい。
- ・桑名西医療センターでは、外来待ち時間の患者アンケートの満足度が低いので、その改善に取り組んでいただきたい。特に、11時過ぎに来院する予約外患者が多く待ち時間が比較的長くなっているとのことなので、この対策にも取り組んでいただきたい。
- ・広報部門を強化し、さらなる情報発信に取り組んでいただきたい。
- ・適切かつ弾力的な人員配置については、新病院開院に向けて、医師をはじめとする職員の配置に、さらに積極的に取り組んでいただきたい。
- ・各医療センターにおいて開催される勉強会に職員が相互に参加するなど、さらなる交流を進めていただきたい。